

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 環境安全・防災課
担当課長名: 水野 宏治

事業名	スマートICアクセス 市道(仮称)笠間PAスマートIC線 (仮称)笠間PAスマートICアクセス2号線	事業区分	地方道	事業主体	笠間市
起終点	自: 茨城県笠間市上加賀田 至: 茨城県笠間市上加賀田			延長	0.7km
事業概要					
(仮称)笠間PAスマートICアクセス2号線は、北関東自動車道笠間パーキングエリアに整備予定の(仮称)笠間PAスマートインターチェンジのアクセス道路として、高速道路の利便性の向上、観光地へのアクセス向上と周辺渋滞の緩和、救急医療の支援を目的とし、(仮称)笠間PAスマートインターチェンジから県道稲田友部線までの延長約0.7kmを整備するものである。					
R3年度事業化		-		R4年度用地着手	
R6年度工事着手					
全体事業費	約20億円	事業進捗率	約75%	供用済延長	- km
計画交通量	1,000台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 12/18億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 36/36億円
	2.0	8.7%	(事業費: 12/18億円 維持管理費: 0.05/0.05億円 更新費: -/一億円		(走行時間短縮便益: 30/30億円 走行経費減少便益: 5.8/5.8億円 交通事故減少便益: 0.76/0.76億円)
	2.0 [2%]				
	2.0 [1%]	13.9%	感度分析 (事業全体)		(残事業)
	(残事業)		交通量	B/C=1.9~2.1(±10%)	交通量
3.1	事業費		B/C=1.8~2.2(±10%)	事業費	B/C=2.8~3.4(±10%)
3.1 [2%]	3.1 [1%]	事業期間	B/C=1.9~2.1(±20%)	事業期間	B/C=2.9~3.2(±20%)
3.1 [1%]					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・一般国道50号、一般国道355号の渋滞が緩和され、観光地へのアクセス向上が期待される。 ・道の駅「かさま」や観光レジャー施設へのアクセスが向上し、観光施設の周遊強化が期待される。 ・三次救急医療施設への混雑箇所回避による時間短縮が可能となり、定時制の確保や救命率の向上が期待される。 ・産業拠点とのアクセスが向上し地域産業の活性化や交流人口の拡大に寄与する。 					
関係する地方公共団体等の意見					
周辺自治体で構成される「県央地域首長懇話会」から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地進捗率約15%、事業進捗率約75%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。					

施設の構造や工法の変更等

再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。

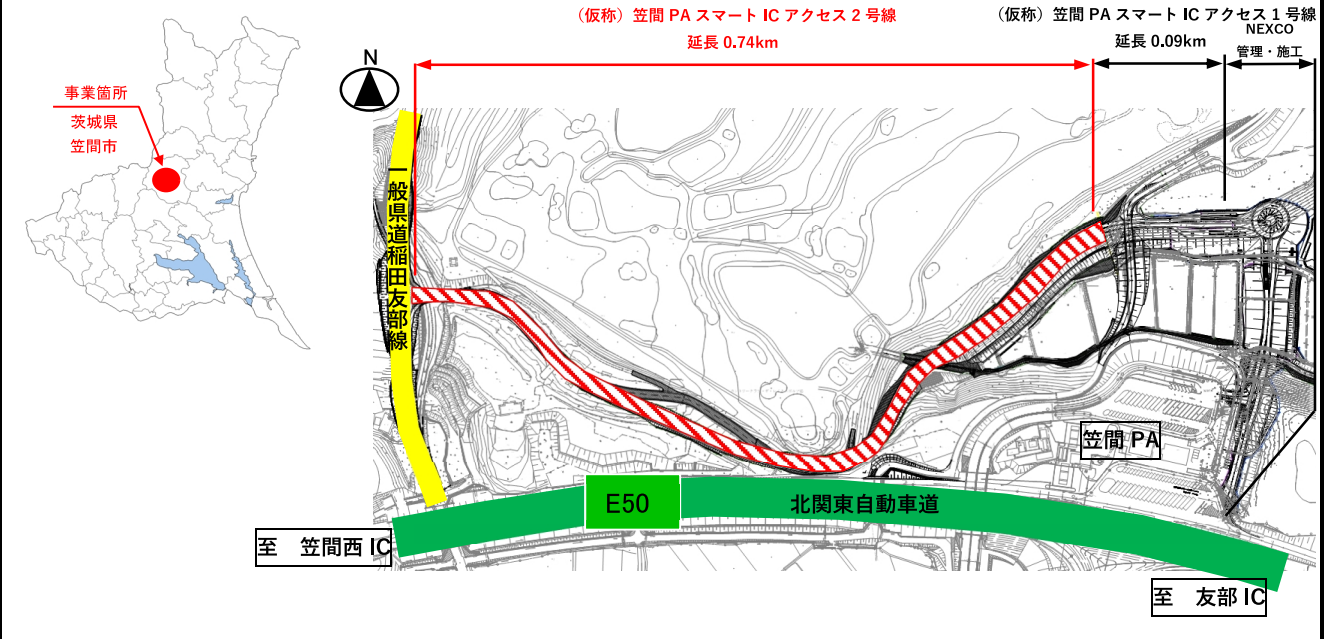
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)